

# 目次

卷頭言——木簡史の研究について……………関 晃……………i

一九八二年出土の木簡……………1

概要……………佐藤宗諄 1

凡例……………4

奈良・平城宮・京跡……………寺崎保広・橋本義則 7

奈良・平城京二条大路・左京二条二坊十二坪……………西崎卓哉 18

奈良・白毫寺遺跡……………中井一夫 21

奈良・藤原宮跡……………加藤優 23

奈良・山田寺跡……………加藤優 29

奈良・阿倍六ノ坪遺跡……………関川尚功 31

京都・長岡京跡(1)……………清水みぎ 32

京都・長岡京跡(2)……………岩崎誠 36

京都・長岡京跡(3)……………岩崎誠 38

京都・長岡京跡(4)……………長宗繁一 39

京都・仁和寺南院跡……………家崎孝治 40

大阪・大坂城跡……………中尾芳治・中川信作 41

静岡・梶子遺跡……………漆畑敏 43

静岡・道場田遺跡……………原川宏・山口和夫 45

滋賀・野畑遺跡……………林博通 47

滋賀・穴太遺跡……………林博通 47

栃木・下野国府跡……………大金宣亮・田熊清彦 48

栃木・下野国府跡寄居地区遺跡……………木村等・岩淵一夫 49

栃木・長原東遺跡……………木村等 55

宮城・多賀城跡……………後藤秀一・佐藤和彦 56

秋田・弘田柵跡……………船木義勝 59

福井・日野川朝宮橋下流

田村満男 61

岡山・肩脊堀の内遺跡

吉岡永一 70

富山・桜町遺跡

伊藤隆三 62

広島・草戸千軒町遺跡

小田原昭嗣・志田原重人 71

兵庫・出合遺跡

鎌木義昌・亀田修一 64

高知・田村遺跡

森田尚宏 73

兵庫・辻井遺跡

山本博利・秋枝芳 66

福岡・高畑廃寺

柳沢一男 75

岡山・助三畑遺跡

馬場昌一 68

大分・藤田遺跡

小倉正五 76

一九七七年以前出土の木簡(五)

..... 78

奈良・藤原宮跡

和田萃 78

字訓史資料としての平城宮木簡——古事記の用字法との比較を方法として——

..... 小林芳規 87

平城宮出土の衛士関係木簡について

..... 鬼頭清明 111

木簡とコンピュータ

..... 田中琢 125

書評・『草戸千軒—木簡—』

..... 水藤真 129